いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第201号
発行日 2018年9月1日発行

8月5日 会宝リサイくるまつり

皆さまこんにちは、社長の近藤です。8月5日に第8回の会宝リサイくるまつりを開催しました。炎天下にも関わらず1,532名の方にお越しいただきました。また昨年同様ご協賛いただいた企業の皆様にも、改めて御礼を申し上げます。このイベントでは、自動車リサイクル業を一般の方にも知っていただくと共に、社員一同「いかにお客様に喜んでいただくか」を毎年考えて取り組んでいます。

昨年までは、アンケートでのお客様満足度を1つの目標にしてきましたが、今年はNPSと言う指標を初めて活用してみました。このNPSと言う指標は、神田昌典様から教えていただいたもので、具体的には下図をご覧ください。

本当にお客様に感動していただくようでないと、9や10の評価はいただけないという共通認識のもと、社員全員で当日を迎えました。実際にNPSを実施している企業でも、「＋評価」自体をいただくことも少ない中で、今回はなんと嬉しいことに＋56ポイントという高い評価をいただきました。

（NPSについては、下記をご覧ください）

https://www.nttcoms.com/service/nps/summary/

このようなお客様の評価をいただき、1日の疲れもあっという間に吹き飛びました。

また催し物は、毎年1番人気の「解体ショー」を筆頭に、お子様の夏休みの宿題にも活用していただいている「リサイクル教室」なども人気でした。また「チャリティーオークション」での収益も微力ではありますが、今年の西日本で災害に遭われた方とJICA様へ寄付をさせていただきました。来年もお客様に喜んでいただける企画を考えていきます。

～広報コーナー～ キラリと光る存在に

● 今月の出番 ●
国内業務部
古屋 妃美香さん

こんにちは国内業務部国内部品課新人の古屋妃美香です。入社してから４カ月が経ちました。社会人になって最初の一ヶ月は右も左も分からなかったのですが、社員の皆様のサポートのお陰で、環境と仕事に慣れてきました。私は会宝産業に入社してとても驚いたことがあります。それは挨拶です。「毎朝のあいさつ運動」をはじめ、とても挨拶を大切にしているのだと感じています。物事の始まりは挨拶からだと思いますので、私も気持ちの良い挨拶をモットーに日々の業務に励んでいきます。

そして私は現在フロント業務を行っております。主にヤフオクで落札いただいた商品の発送準備、電話応対や部品の検索も行っております。入社したての頃は、部品の名前も分からず慌ててしまうこともたくさんありましたが、優しい先輩方に教えていただき、最近では、お客様からも名前を覚えていただき、とても嬉しく思っています。今後もたくさんの方に自分の名前を覚えていただけるよう日々努力していきます。

農業の取り組み ～農業事業部より～【 流しトマト 】

第8回会宝リサイくるまつりで、会宝農園は昨年に引き続き「流しトマト」のコーナーを設け、ご参加の皆様に楽しいひと時を過ごしていただきました！そして今年は流し台となる筒を新調して気持ちを新たにお客様をお迎えしました。

流しトマトのコーナーでは「やったー！とれたー！！」という子ども達の元気な歓声とともに、すてきな笑顔を見ることができました。イベント当日は汗だくになる陽気でしたが、暑い中お越しいただいたお客様に楽しんでもらえたことは会宝農園のスタッフにとってもとてもありがたくうれしいことでした。「インスタ映え」する夏の風物詩となりつつ流しトマト。親御さんが子ども達とトマトとが触れ合うシーンを撮影なさっていたことも印象的です。

延べ220名のお客様が会宝農園のしあわせのトマトと触れ合っていただけました。そしてさらに喜ばしいのが、とったトマトをすぐ食べてくれた子ども達が口々に「美味しい！」と言ってくれたことです。お客様の美味しい！ありがとう！の一言が会宝農園スタッフの元気の源です！！来年の会宝リサイくるまつりでは今年以上に、「やったー！」の声だけでなく、「うまーい！」「あまーい！」の声も響き渡るよう、ますます品質向上に努めていきます。（担当: 田中）

☆食欲の秋もトマトを食べて、元気をチャージ♪【会宝農園インターネットショッピングサイト】
http://agribalance.jp/

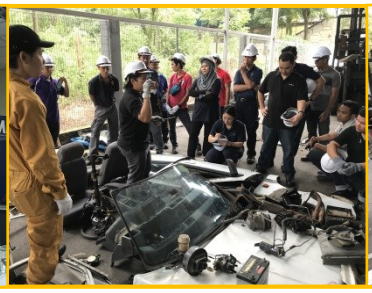
社員海外レポート

8月6日-11日 マレーシア出張

皆さまこんにちは。海外事業部の宮川です。先月マレーシアに出張して参りました。今回は、マレーシア国別研修「LEP2.0 使用済み車輌リサイクル」準備及び成果普及支援という、JICAの委託を受けて行なっている研修のための出張です。マレーシアの自動車リサイクル発展を目指し、現地の行政官、民間企業、大学研究者からなる計30名に自動車リサイクルに関する技術研修を行います。

今回の研修目的は大きく2つあり、1つは日本式の自動車リサイクルを通し、安全、適切なリサイクル方法を伝えること。もう1つは素材分別を通じて、資源のさらなる有効活用方法を伝えることです。現地では、使用できる工具の幅にも限りがあり、素材分別の仕方が不十分なため、まだ使える資源がリサイクルされずに捨てられてしまうのが現状です。資源が有効に活用されないだけでなく、環境汚染、リサイクル従事者の安全が脅かされています。様々な制約がある中で、ただ日本式の技術を伝えるのではなく、現地にあったリサイクルのあり方を、彼らと一緒に考え、模索していくことが必要で、やりがいを感じています。

2020年に自動車リサイクル法を制定することをゴールにマレーシア政府は動いていますが、その先で、現地における事業展開も見据えています。自分が携わる日々の仕事が、世界の問題解決に貢献できる可能性を秘めていることを強く感じています。この支援事業は2020年まで続き、今年の10月には、第2期の研修生が日本を訪れます。次回は、会宝産業の社員全員で彼らを迎え、より多くの学びを当国に持ち帰り、日本とマレーシア両国のさらなる発展に寄与できるよう日々頑張ります。



今月のパチリ☆

こんにちは。先月の会宝リサイくるまつりの縁日コーナーの写真です。子供たちが汗だくになりながらも楽しそうに熱中している様子に感動しました。恒例の“お絵かきcar”では最後には書く所が無くなり、タイヤにまで書いてあって色とりどりのきれいな車になりました！

来年も会宝リサイくるまつりで子供達のたくさんの笑顔をお待ちしています！！（担当：宮村）

相場情報　～生産部より～

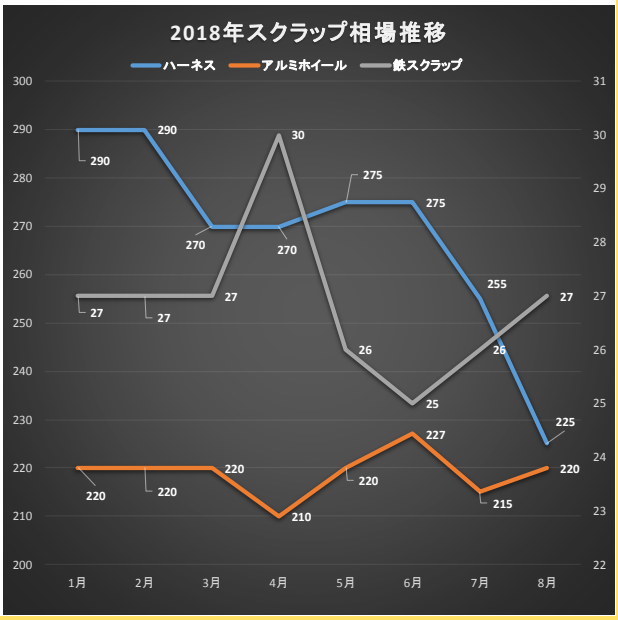
2018年8月実績	
入庫台数	881台
処理台数	800台

こんにちは。会宝産業の山口です。例年であれば暑さも盆まで・・なのですが、今年は台風によるフェーン現象で北陸は8月後半になっても猛暑日が続いております。

さて、先月は後半にかけて鉄相場が上昇しましたね。これは電炉が好調を維持する一方で、国内で発生するスクラップの荷動きに勢いが無い事が、スクラップの買取り価格に影響を及ぼしていると言われています。

ただ、海外に目を向けるとトルコの鋼材等に関する米国の関税引き上げなどが関係して相場が急落した事で、日本のスクラップに割高感が出ていることも先行き懸念材料としてピックアップされています。相場は様々な思惑に左右されてしまいますが、まずは需給のバランスをしっかりと見ていく事が大切ですね。

（単位：円）　（単位：円）



今月のトピックス　～ ツエーゲン金沢 ～

会宝産業がツエーゲン金沢のスポンサーになって8年目となりました。今年もチームとの「コラボうちわ」が完成しました。すでに試合会場やサッカースクールでご覧になられた方もいるかと思いますが、全選手の顔写真が載っていますので、ぜひ試合会場で応援する際にも使っていただけたら嬉しいです。

チームは8月31日現在で14位というJ2の真ん中に位置していますが、J1プレーオフ圏内の6位を目指して後半の巻き返しを期待しています。

民間企業の枠を超えた、地域のシンボルとなり得るプロサッカーチームを支援することで、少しでも地元への貢献ができればと思っております。そしてツエーゲン金沢の繋がりで様々なご縁もいただき、感謝しています。（担当：佐藤）

会宝産業株式会社　国内業務部
〒920-0209　金沢市東蚊爪町1丁目21-2

車輌課　（車輌引取り・査定）
TEL　076-237-5347
FAX　076-237-1950
Email：sales@kaiho.co.jp

部品課　（部品注文/担当：大森・角島）
TEL　076-237-5138
FAX　076-237-6090
Email：kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。
http://kaihosangyo.jp/
ご意見ご要望はこちらまで
soumu@kaiho.co.jp　（担当：宮村）